

## 競技上の注意事項(お願い)

- 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。
  1. 原則としてすべての試合をソロチュア・アンパイア(SCU)方式で行います。団体戦の準決勝以降・個人戦の準々決勝以降においては、ロービング・アンパイア(コートレフェリー)を入れる予定です。
  2. 大会に参加できない生徒が出た場合の措置について
    - a. 個人戦においては、棄権とし、代わりの選手が出る時はオープンとする。
    - b. 団体戦においては、監督会議の前日 12:00 までは、選手変更届にて対応してください。以降は、大会ディレクター(専門委員長)問い合わせ先に連絡をお願いします。
  3. 各日程受付を 8:45 より始めますので、出場選手は各日程の試合開始までに必ず受付を行って下さい。
  4. 試合前のウォームアップはトスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ 4 本のみとします。ただし、上位戦は 3 分間練習を行うことがあります。
  5. 25 秒ルール・90 秒ルールを厳守してください。
  6. 試合前のユニフォームに、ゼッケン着用等による学校名を表示することを励行します。また、大会参加における服装規定は、現行の全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとします。
  7. 個人戦の試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控え(next=プレー中の次の試合)の選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。団体戦の試合は、団体進行計画表に従ってください。
  8. 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。雨天の場合も出場選手は一旦試合会場にて受付を行い、以後の日程の連絡を受け取ることを原則としています。
  9. 試合球は、男女ともウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY(エクストラ・デューティ)」。大会本部で準備します。ドロー番号の少ない(小さな)選手(=以後、「若番」と称する)が試合開始前に本部にボールを取りに来て下さい。対戦後、開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
  10. ベンチは本部に近い方、得点板は上の段を若番が使用します。

## 《団体戦の注意事項》 — 【選抜予選方式】

1. 形式について
  - a. シングルス 3 名、ダブルス 2 組の対抗トーナメントとする。
  - b. 決勝で敗退した学校と 3 位決定戦で勝利した学校が準決勝で対戦していなかった場合、2 位決定戦を行う。
  - c. 1 回戦～準々決勝までは 1 セットマッチで行い、準決勝・決勝・順位決定戦は 8 ゲームズプロセットマッチを原則とする。
2. 選手登録について
  - a. 実力順で校内 1 位から 9 位までの 4 名以上 9 名以内で登録する。
  - b. 登録順位の決定方法においては、以下の通りとする。参加校からの申込の順位が下記と異なる場合には、大会本部にて登録順位の入れ替えを行う。
    - シングルスポイントを 20 ポイント以上保持している選手を、ランキングの高い順に登録する。
    - 上記以外の、ダブルスポイントを 20 ポイント以上保持している選手を、ランキングの高い順に登録する。
    - 上記以外の、シングルスおよびダブルスいずれかのポイントを保持している選手を、校内の実力順に登録する。この場合の登録については、ランキングの高い順でなくてもよい。
    - 上記以外の、シングルスおよびダブルスいずれのポイントも保持していない選手を、校内の実力順に登録する。
    - 選手および監督の変更については、期限までに変更届が提出されたものの確認を行う。
  - c. 負傷・疾病等やむを得ない事情が生じた場合、所定の用紙を、診断書等の理由を付して監督会議前日(通常、大会初日前日)の 12:00 までに専門委員長に提出すれば専門委員で検討し、翌日の監督会議で認めることもある。
3. 選手オーダーについて
  - a. 同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。

- b. 選手オーダーは、登録選手の中で各対戦ごとに組み替えることができる。
  - c. シングルス、ダブルスともに登録上位順に出場する。
  - d. ダブルス順位は、シングルの校内順位の数の和が小さい方を上位とする。同数の場合は登録順位上位者を含む方を上位とする。
  - e. 選手オーダーは登録人数が7名以上の学校は対戦相手が6名以下であっても7名のオーダーで提出すること。登録人数が6名の学校は対戦相手が5名以下であっても6名のオーダーで提出すること。
  - f. オーダー用紙は同じ内容のものを3部（本部用、対戦校交換用、自校控用）作成し、試合当日の初戦のものは受付時に、二廻り目以降は対戦決定後すみやかに本部へ提出すること。
  - g. 団体戦にてリタイアした選手がいるチームが勝ち上がった場合、同じ日に次の対戦がある場合には、リタイアとなった選手(ダブルスの場合はリタイアの主因となった選手)の出場はできない。次の日に次の対戦がある場合は出場できる。
4. 試合の順序・方法について
- a. S1-D1-S2-D2-S3の順で行うことを原則とする。
  - b. 勝敗が決定した時点で試合を打ち切る（ゲーム途中の場合はそのゲーム終了時点での打ち切りとする）。ただし、初戦のみ全ポイント行う。進行の状況に応じて、2面～5面の同時進行で行うことがある。
  - c. 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行する。
  - d. 4名以上6名以下のチームが対戦する場合は、以下の通りとする。
    - A(7名～9名)vsB(6名)=S3はAの不戦勝
    - A(7名～9名)vsB(4名～5名)=D2、S3はAの不戦勝
    - A(6名)vsB(6名)=S3は行わない。2勝2敗の場合には①→②の順に決定する。
      - ①取得ゲーム率 ②S1の勝者
    - A(6名)vsB(4名～5名)=D2はAの6-0(または8-0)での不戦勝、S3は行わない。2勝2敗の場合には①→②の順に決定する。
      - ①取得ゲーム率 ②S1の勝者
    - A(4名～5名)vsB(4名～5名)=S1、D1、S2による2ポイント先取
5. 試合の進行について
- a. 試合開始にあたっては、両校監督・選手整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。その際、登録選手は全員整列することを原則とする。
  - b. 監督は、相手校に対し選手の紹介・確認を行う。
  - c. ベンチコーチの助言は、エンド交代時に限る。
  - d. コートに入れる者は、選手及びベンチコーチ（試合を行っている学校の監督または登録選手）各コート1名に限る。
  - e. 審判は、初戦は対戦校同士の相互審判、2回戦以降は敗者審判を原則とする。
  - f. 初戦は5ポイント全てを行う。人数の差異がある場合には人数が少ない学校の選手が重複して出場してオープンによる対戦を行うことを原則とする。
6. 表彰と上位大会について
- a. 表彰は3位まで行う(第4位も3位として表彰する)
  - b. 上位2校は全国選抜高校テニス九州地区大会Aブロック大会の出場権を得る。3位校も、同時期に開催されるBブロック大会の出場権を得る。

#### 《個人大会の注意事項》 — 【県新人大会形式】

1. 試合の順序・方法について
- a. 《男女シングルス》決勝戦を8ゲームズプロセットマッチで行い、それまでは1セットマッチで行うことを原則とする。それぞれ6ゲームズオール及び8ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。また、準決勝戦敗者による3位決定戦ならびに準々決勝戦敗者による5～8位決定戦を1セットマッチで行う。
  - b. 《男女ダブルス》決勝戦を8ゲームズプロセットマッチで行い、それまでは1セットマッチで行うこと

を原則とする。6 ゲームズオール及び 8 ゲームズオールで ITF 方式タイブレークを採用する。準決勝戦敗者による 3 位決定戦も行う。

- c. 表彰はシングルス 6 位まで、ダブルス 4 位まで行う。
2. 荒天時の大会日程について
    - a. 日程がずれてきても、原則として日程に明記してある種目についてはその当日に実施する。
  3. 第 46 回全国選抜高校テニス大会における各都道府県個人戦代表の選手選出については、熊本県においては本大会の結果を基に選出する。